

「遊び」と「学び」をコンセプトに

旧吹屋小学校が OPEN

生まれ変わった旧吹屋小学校

ベンガラと銅あかがねの町・備中吹屋にたえずむ旧吹屋小学校。明治33（1900）年に東西校舎、同42（1909）年に本館が完成し、平成24（2012）年の閉校まで国内最古の現役木造校舎として使用されました。また、平成15（2003）年には明治時代後期を代表する擬洋風の学校建築として、岡山県の重要文化財に指定されています。

この貴重な文化財を後世に残すため、7年にわたって行われた保存修理工事が3月末に完了し、いよいよ4月21日（木）から一般公開が始まります。校舎内には、明治時代の懐かしい教室を再現したコーナーや、XRエクステル（※）を使って日本遺産の魅力を体験できるコーナーなどが設置されており、今回は当時の面影を残しつつも、新しく生まれ変わった「旧吹屋小学校」についてご紹介します。

観光課 ☎ 21・0217

※XR（クロスリアリティ）：現実世界と仮想世界を融合させた映像技術。

